

# 身近にある アスベストの危険

---

伊藤泰司

# アスベスト建材は どれくらいあるか？

## 複数の推計が存在

1955～1987年までの吹き付け石綿や保温材などレベル1～2建材の使用量は約170万トンと推計。うち約100万トンが残存と推定。

レベル3が多くを占める「非飛散性」アスベスト建材は1970年代以降、計約4,125万～4,950万トンと推計。約4,000万トンが残存と推定。

圧倒的にスレートが多く、1970年代以降、約2,800万トン使用。

2001～2020年には毎年100万～130万トンが廃棄物として発生。その後も2040年ごろまで50万トン超、2060年ごろまで20万トン程度発生と予測されている。

# 身近にあるアスベスト



**スレート  
日本のアスベ  
スト全使用量のう  
ちでも圧倒的。  
最高20%の含有  
率**

# ケイ酸カルシウム板

- ケイカル板は、ほとんどの家屋に使われてきた。台所や水回りのタイルの裏などに使われている。含有率最高20%
- フレキシブルボードは外装などでも使われ、最高25%の含有率

# 屋根材



**屋根材。最近では金属が多いが、一昔前はこうした屋根材が多かった。**

**クボタ、ケイミュー、セキスイなど。**

**痛みが早いからか、含有率が高い。最高25%**



# テーリング



モルタルで  
細かい細工  
を可能にし、  
モチをよく  
しようと用  
いられた。  
左官屋さん  
のさじ加減  
で。

# 今もある吹き付け



**あるスーパー  
マーケットの駐  
輪場の天井。**

**ロックウール  
吹き付けだとす  
ると、最高20%  
の含有率**

# 今年は（も）天災の年

- 大阪北部地震で、高槻、枚方、寝屋川の市民会館がアスベスト建材の破損で使えない。など、あまり取り上げられていないが実は大きな問題になっている。
- 西日本豪雨のためにたくさんの建物が倒壊した。アスベストの危険が指摘されているが、気中濃度測定で「大丈夫」だと。



# 台風一過の道路では

---

- **たくさんの街路樹が倒れ、たくさんの瓦が落ちた。**
- **たくさんのスレートが破損して飛び散っていた。**
- **これらを車が踏み潰すと飛散します。**
- **大阪じゅうに広がる事態でしょう。**

